



# 人事異動

括弧内の数字は發令月日

其 一

聯絡局長兼參事 應鳴 詩  
聯絡局長常務理事 升井 芳平  
技術研究所長兼參事 小寺 巖  
技術研究所長兼參事 升井 芳平  
停年に付依願解職(九・三)

大阪支社編輯部長兼參事 小寺 巖  
大阪支社編輯部長兼參事 小寺 巖  
大阪支社編輯部長兼參事 小寺 巖  
大阪支社編輯部長兼參事 小寺 巖  
大阪支社編輯部長兼參事 小寺 巖

大阪支社通信部長兼參事 井關 納  
大阪支社發送部長 井關 納  
舞鶴支社主任 中村 壽雄  
舞鶴支社主任 中村 壽雄  
舞鶴支社主任 中村 壽雄  
舞鶴支社主任 中村 壽雄  
舞鶴支社主任 中村 壽雄

華中總局編輯部長兼參事(九・三各通) 萩原 榮治  
華中總局編輯部長兼參事(九・三各通) 萩原 榮治  
華中總局編輯部長兼參事(九・三各通) 萩原 榮治  
華中總局編輯部長兼參事(九・三各通) 萩原 榮治  
華中總局編輯部長兼參事(九・三各通) 萩原 榮治

吉ヤカル支社支社總經理主任 柳原平三郎  
吉ヤカル支社支社總經理主任 柳原平三郎  
吉ヤカル支社支社總經理主任 柳原平三郎  
吉ヤカル支社支社總經理主任 柳原平三郎  
吉ヤカル支社支社總經理主任 柳原平三郎

東京 雪雄 聯絡 〇元  
以下括弧内は勤務部署  
橋本不二男(國通・編輯)  
安永 治(同) 井上 滿(同)  
池田寅次郎(同) 秋吉 弘(同)  
田田寅次郎(國通・海外)  
小川秀夫(聯絡) 山本義雄(名古屋)  
安田 登(松江) (〇・三各通)  
百瀬三郎(大阪) (〇・三各通)

其 三 (社員を命ず)  
伊勢 初子(大阪) (〇・三)  
左近充みよ子(總務) (〇・三)  
篠原喜久夫(門司) (〇・三)

其 九 (解職、依願解職)  
解職 平川 生夫(臺北) (九・五)  
依願解職 金村 源(京城) (九・三)  
同 任 建 中(海外) (〇・三)  
同 任 建 中(海外) (〇・三)  
同 任 建 中(海外) (〇・三)

## 郷軍同盟分會武道競技會を實施

十月十七日の佳日を下し帝國在郷軍人會同盟分會は秋期武道競技會を實施したこの日天氣は氣づかはれたが幸に雨にもならず、折柄臺灣沖の捷報續々到来り、會員の意氣軒昂たるものがあつた

九時、東京支部長代理和仁大佐、聯合分會長青山大佐、名譽顧問古野社長等臨場の下に、日比谷公園廣場に整列、宮城を遙望し、續いて壯烈なる仕合を展開し筆剣一如の社訓を戴く銃後社員の面目を



(寫眞上は日比野中尉の奮戦振り、下は會場全景)

△既教育兵銃劍術  
一位 阿部上等兵 (寫眞)  
二位 高井上等兵 (寫眞)  
三位 馬島上等兵 (整理)  
四位 丸山上等兵 (整理)  
五位 内野 勝 尾 (電務)

△未教育兵銃劍術  
一位 大島 惣平 (電務)  
二位 谷 正之 (華文)  
三位 尾 崎 茂 昌 (歐米)  
四位 谷口俊彦(東亞)  
五位 小木曾敢兒(電務)

## 北支の蝗群

北支派遣軍乙第三五一〇部隊 陽田 保司

社長殿はじめ報道陣の皆様御奮闘のことと存じ上げます、小兵大陸生活早くも二年半、變らぬ元氣です、ここ大陸は九月に入るとともに本格的秋風が吹き、朝夕は全く連日です、日下高粱稔り收穫一歩前、連日蝗の大群が飛來して壯觀です、映畫「大地」のそれを御想像下さいこの大群が一度通過すると農作物は滅茶苦茶になつてしまふので農民達は人類の敵となつて一族郎黨總出動、異様な聲をばり上げて撃退に大奮闘、小兵等も軍務の小閑をみて奇襲し大獲勝して食糧に供し故國の味に舌鼓を打つことも大陸生活の一興です、過日ゆくりなくも華北總局勤務の石崎龍氏(元駒路支局勤務)に遭ひ、社の消息を聞き、こみ上げるばかりの懐しきを感じました(下略、函館支局長)

## 雁素

北方〇〇にて 高松 義一

・同盟の皆様御健闘のことと存じます、私のこの度北の護りの要員として召され、ただ今無事〇〇に到着待命中です、連日陣内の歎を囁つとまでは行きませんが陰鬱な大自然の平凡さは退屈の限りです、圓らぬも函館支局の田代君が行動を共にしてゐるのも何かの因縁せう、お互に星ではあります、同盟精神を前線へをりまく故郷安心下さい、先日佐野誠一報道班員に會ひました、初対面ではありませんが社友の懐しきからくつろいだ一時を過し非常に愉快でした、皆様の御健康をお祈りします(豊原支局長)

## 其二

(新) 氏名

河川 憲三 長崎 〇・二  
稲葉重太郎 中華 〇・二  
横井義一郎 大阪 〇・二  
小林 春雄 天津 〇・二  
三須 良 總務 〇・二  
大森 建道 編輯 〇・二  
佐藤 壽人 編輯 〇・二  
箕浦信太郎 國通 〇・二  
橋本不二男 國通 〇・二  
安永 治 國通 〇・二  
池田寅十四 國通 〇・二  
井上 滿 國通 〇・二  
秋吉 弘 國通 〇・二  
坂野 次彦 聯絡 〇・二  
石井 彰 聯絡 〇・二  
長田政次郎 華北 〇・二  
吉武 雪生 華南 〇・二  
佐藤 光夫 華南 〇・二  
木多 孝平 中華 〇・二  
湯本與喜治 中華 〇・二  
馬本 喜治 中華 〇・二  
田村 二郎 編輯 〇・二  
松田 喬 編輯 〇・二  
今井 幸彦 編輯 〇・二  
井上 滿 編輯 〇・二  
増田 正二 編輯 〇・二  
梅原 醇一 編輯 〇・二  
植田 君子 編輯 〇・二  
吉野 利男 編輯 〇・二  
穴戸 寛 編輯 〇・二  
北川 武 編輯 〇・二  
井上 次郎 編輯 〇・二  
渡邊政之助 編輯 〇・二

## 其 三

(准社員を命ず)

宮澤 良雄(編輯、九・二)  
新姓名 舊姓 任地 改姓月日  
和田林之助 葛生 高知 〇・三  
副田 信義 蘇枝 臺北 九・三  
篠原 一雄 長根 西貢 一〇・七

## 其 四

(准社員を命ず)

宮澤 良雄(編輯、九・二)  
新姓名 舊姓 任地 改姓月日  
和田林之助 葛生 高知 〇・三  
副田 信義 蘇枝 臺北 九・三  
篠原 一雄 長根 西貢 一〇・七

## 其 五

(事務を囑託す)

大村 主計(編輯) 石川 湧(海外) (〇・三各通)

## 其 六

(依願解職)

以下括弧内は勤務部署  
長井美知子(編輯、六・三)  
山田 廣吉(總務、高橋) 信雄(編輯)  
池田 民市(岐阜) 古川 忠徳(天津) (八・三各通)

## 其 七

(依願解職)

百尾 君子(大阪、九・三)  
白川 光石(京城、九・三)  
松井 正男(福島、九・三)  
笠原 義榮(總務、九・三)  
花田 悦子(海外) 風間 小春(札幌)  
原科幸太郎(静岡) 今正 祿(京城) (九・三各通)

## 其 八

(依願解職)

長井美知子(編輯、六・三)  
山田 廣吉(總務、高橋) 信雄(編輯)  
池田 民市(岐阜) 古川 忠徳(天津) (八・三各通)

## 其 九

(依願解職)

長井美知子(編輯、六・三)  
山田 廣吉(總務、高橋) 信雄(編輯)  
池田 民市(岐阜) 古川 忠徳(天津) (八・三各通)

## 其 十

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十一

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十二

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十三

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十四

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十五

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十六

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十七

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十八

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 十九

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十一

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十二

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十三

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十四

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十五

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十六

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十七

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十八

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 二十九

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十一

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十二

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十三

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十四

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十五

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十六

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十七

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十八

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 三十九

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十一

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十二

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十三

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十四

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十五

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十六

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十七

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十八

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 四十九

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 五十

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 五十一

(死亡)

石原 剛(京都、八・二)  
石川 金彌(青島、六・七)  
根本 一夫(臺北、一〇・五)  
岡本 清吉(函館、九・三)  
近藤 政助(總務、一〇・二)

## 其 五十二

(死亡)